

シンプルリモートエンジンスタート取付説明書

パーソナルCARパーツ (http://www.p-c-p.co.jp)

はじめに

本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。
短絡（ショート）が発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。
充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールください。
車種毎の配線図を車を購入されたディーラーから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご考慮ください（必要な部分は、キーシリンダー周り、ギアポジション信号周り、メーター周り、パーキングブレーキ、フットブレーキ周りの線図です。）
それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

免責事項

装着の着手を以って、以下についてご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても製作者に責は無いものとします。
3. 当方から提供する 車種専用装着資料の記載内容が実車と異なる場合においても、弊社に責は無いものとします。

注意事項

本商品はイモビライザーやセキュリティシステム等の盗難防止認証システム、スマートキーやスマートエントリーのいわゆるキーフリーシステムには対応していません。
必ず、お取付の前に認証システムやキーレスのシステムをお確かめの上装着してください。

装置配線を市販のイモビバイスユニットに接続する事でイモビライザーを解除する事が可能ですが、イモビバイスユニットによるイモビキャンセルは本装置の保証及びサポートの一切の対象外となります。

また、お車の仕様によりリモートエンジンスタートでのアイドリング中にリモコンのアンロックが無効となるお車がございます。その場合のお車の開錠は鍵で開錠頂くか、オプションのアンロック専用リモコン装置を装着する必要があります。

オプションのアンロック専用リモコンは下記サイトより購入できます。
詳細は弊社Webページ <http://www.p-c-p.co.jp/> よりご確認ください。

動作仕様

本装置の動作仕様は下記のとおりとなります。装着後、下記仕様で正常動作するかご確認ください。

- ★車両純正キーレスリモコンのロックボタンを5秒以内に3回押下する事でリモートエンジンスタートします。
- ★リモートエンジンスタート後に15分以内にキーが挿入されACCがオンにならないと、エンジンスタート15分後にエンジンは停止します。
- ★リモートエンジンスタート後15分以内にフットブレーキが踏まれると、リモートスタート状態を解除します。
注意：車両純正キーレスリモコンの操作でリモートスタート中のエンジンを停止する事は出来ません。リモートスタート中のエンジンを停止する場合はフットブレーキを押下してリモートスタートを解除します。
- ★何等かの理由でリモートエンジンスタートが出来なかった場合、3回までエンジンスタートをリトライします。リトライを3回繰り返してもエンジンスタート出来なかった場合はリモートスタートは解除されます。
- ★ギアポジションやパーキングブレーキが正しい位置に無い場合はリモートスタートはしません。

パーキングギア、ギアポジション位置でのリモートスタート条件

ギアポジション	パーキングブレーキ	リモートスタート
Pレンジ	有効	可
Pレンジ	無効	可
Pレンジ以外	有効	可
Pレンジ以外	無効	不可

取付け準備

*取り付けに必要な工具と部品

取り付けには、装置からの信号線を車体側の各種信号線と接続しますので、結線先配線を確認するためのテスター、検電器をご用意ください。

また、結線作業に必要なニッパー、ペンチ、ドライバー、絶縁テープ等を準備願います。

※キーシリンダー周りの配線は大電流が流れますので、配線分岐の際はエレクトロタップを使用せず、ギボシ端子やハンダ付けで確実に結線してください。
接触不良や、最悪の場合車両火災等に発展する場合があります。

●配線の車体側接続先の確認

本装置を取り付けるには以下の車両配線を持定する必要があります。

※各配線は、取付け車種の配線図があれば容易に信号線の場所は特定できますが（購入されたディーラーからコピーを入手する等）、無い場合テスターを使って探す必要がありますので、テスターや電検ペンをご準備の上接続先配線を持定してください。

- | | | |
|------------------|--|---------------------|
| ① I NG 1 | キー位置が「ON」の時12Vになる配線 | } キーシリンダー配線に2本あります。 |
| ② I NG 2 | キー位置が「ON」の時12Vになる配線 | |
| ③ スターター信号 | キー位置が「START」の時だけ12Vになる配線 | |
| ④ ACC電源 | キー位置が「ACC」の時12Vになる配線 | |
| ⑤ 常時12V | 常に12Vの配線 | |
| ⑥ パーキングブレーキ信号 | パーキングブレーキを引いた時に12V→0Vに変化する配線 | |
| ⑦ フットブレーキ信号 | フットブレーキを踏んだ時に0V→12Vに変化する配線 | |
| ⑧ パーキングギアポジション信号 | ギアポジションがパーキング位置の時に12Vに変化する配線 | |
| ⑨ チェック用ACC電源 | キー位置がACCの時12Vに変化する配線 ※④のACCと同じ箇所のACCでも構いません。 | |
| ⑩ L信号 | キー位置がONの時0V、エンジンスタート後に12Vに変化する配線 | |
| ⑪ ドアロック信号 | ドアロック時一瞬だけ0V→12Vに変化する配線、または12V→0Vに変化する配線、※お車の制御方式によって異なります。
茶線：プラスコントロール（ロック時一瞬0V→12Vに変化する配線）時に使用します。
青線：マイナスコントロール（ロック時一瞬12V→0Vに変化する配線）時に使用します。 | |
| ⑫ ボディーアース | 車体の金属部へ接続 | |

取付方法

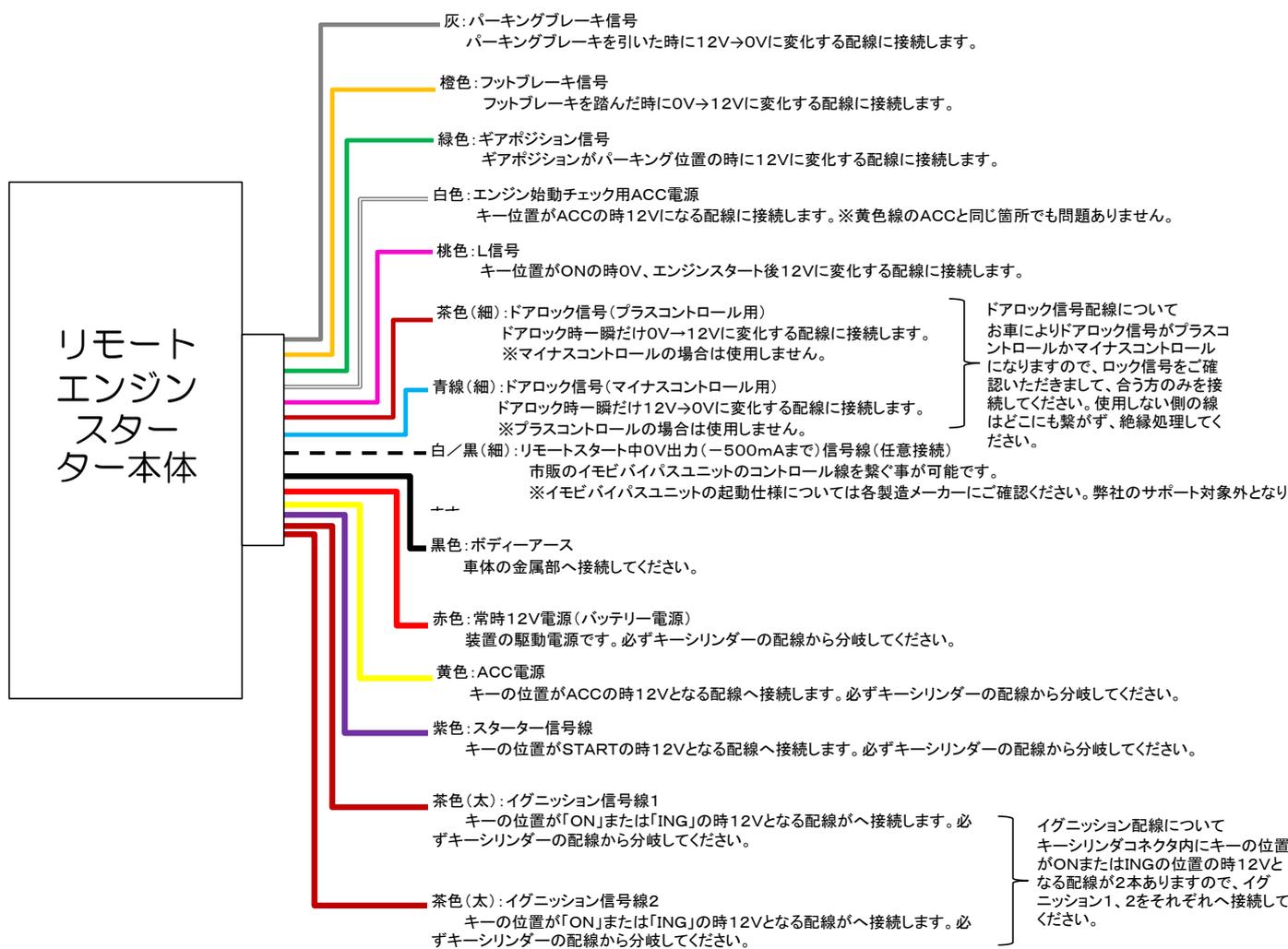
- ①バッテリーのマイナスターミナルを外します。
- ②取付準備で調べたお車の各信号線へ下図の装置配線先を参考にそれぞれ結線していきます。
- ③バッテリーのマイナスターミナルを繋ぎます。
- ④動作仕様を元に動作確認をします。
- ⑤動作確認が完了したら装置をお好みの位置に固定して完了です。

注 意

バッテリーのマイナスターミナルを外すと、パワーウィンドウ、ナビ、パワースライドドア等の初期化操作が必要となる場合がございます。必要に応じて、車両マニュアルをご覧ください、必要な操作をお願い致します。

以上で終了です！ お疲れ様でした！

装置配線図(装置コネクタ配線)



市販のハーネスキットを使用している接続が可能ですが、配線色、コネクタピンの配列はメーカーごとに異なりますので、必ず車両側の信号をご確認の上でご使用ください。